

稲荷山だより

2020

冬



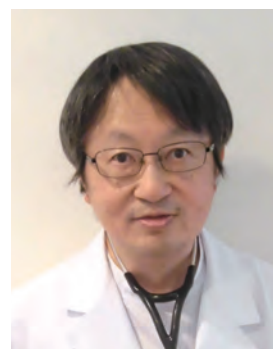
topics

ノロウイルス感染症
予防するにはどうしたらいい？

topics ノロウイルス感染症

まずは感染経路を知ること

ノロウイルスによる胃腸炎や食中毒は一年を通じてどの年齢層にも発生していますが、例年、冬に発生のピークを迎えます。感染経路は、病原体が付着した手で口に触れることによる接触感染や、汚染された食品を食べることによる経口感染があります。感染力は非常に強く、感染すると1日～2日で、下痢、嘔気、嘔吐、腹痛、発熱などの症状が出ます。小児では嘔吐、成人では下痢が多くみられます。



稲荷山武田病院
副院長 埴 健

▶ つづきは裏面へ

topics ノロウイルス感染症

予防の基本は手洗いです。

通常、特別な治療は不要で、多くは発症してから1～3日で自然に治りますが、激しい下痢や嘔吐が続く場合は脱水になることがありますので早めに医療機関を受診しましょう。とくに乳幼児や高齢者は注意が必要です。

予防の基本は手洗いです。外出から帰った時、トイレの後、調理や食事の前には石鹸と流水で十分に手を洗うことが大切です。また、できるだけ加熱処理をしたものを食べることで、特にカキなどの二枚貝を調理するときは中心部まで十分に加熱することが必要です。



緩和ケア外来の紹介

がんと一緒に生きていくために、
苦痛な症状を緩和させることが緩和ケアです。



がん患者さんとご家族が、身体や心のつらい気持ちをなんでも話すことができ、どこでどう過したいか、日々どうしていきたいかを一緒に考えるために緩和ケア外来があります。

稲荷山武田病院の緩和ケア外来は、2018年4月から本格的に始動しました。

2019年12月現在、10名の方が通院しています。他病院で治療を続けながら緩和ケア外来に通っている方もいます。外来予約を待たずに辛い症状が出現したときは、電話をもらい往診に行きます。入退院を繰り返し最期は緩和ケア病棟で亡くなる方も増えました。外来通院をしながら、気持ちの整理をし、自分で過す場所を決められるのが利点だと思います。

がんになったことが、不幸なことではなく、つらいことにならないように、患者さんやご家族を支えていくことを目標にしています。

緩和ケア認定看護師 野口 幸子

緩和ケア研修会のご案内

日時 令和2年2月29日(土) 14時～16時
場所 T K P 京都駅前カンファレンスセンター
定員 約30名
お申込 同封の参加申込書に必要事項をご記入の上
1月31日(金)までにFAX075-532-5115へ
問合せ 稲荷山武田病院 担当 高杉 tel 075-541-3371

講演 がんになった時の療養場所について
稲荷山武田病院長 土屋 宣之
ヒーリングコンサート ディヴェルティメント 春へのあこがれ 他
ハーブ演奏 山根 ひろみさん / 菅田 貴子さん
講演/実演 緩和ケアにおけるアロマセラピーの効果
独立行政法人京都医療センター リボンススタッフ
緩和ケア科所属 アロマセラピスト 畑 亜希子先生